

長崎海洋大使として研修・視察に行ってきました！

7月10日から1週間、長崎海洋大使として、ヨーロッパ各地を訪問しました。現地の大学生と交流したり、大学教授の講義を拝聴したり、企業の社長とディスカッションしたりと、非常に内容の濃い研修でした。報告会では、将来、長崎の海洋産業を担っていく子どもたちに海洋産業の有用性と、可能性について語りました。この経験を自分の将来に必ず生かして、今回の研修にご協力、ご援助、ご尽力いただいた方々の期待に応えられるようにしたいです。

(2-5 森川宏太郎)

EMECの潮流発電サイトでは、近くの干潟にアザラシの群れを発見することができ、エネルギーと動物が共存するというこれまでにない姿に感動しました。「海洋エネルギー」と日本を繋ぐ架け橋として、今回の研修に参加できたことを心から感謝しています。将来は作家という仕事を通じて、「海洋エネルギー」の素晴らしさやそれに携わる方々の様子を日本中のみなさんに届けていけるようになりたいです。

(2-2 前田遥香)



SINGAPORE-AUSTRALIA STUDY TOURに参加しました！

7月27日～8月10日の15日間、長崎県が主催する「SINGAPORE-AUSTRALIA STUDY TOUR」に参加しました。これは、長崎から世界に出て活躍できるグローバルリーダーを養成するための研修で、応募で選ばれた県内の高校生20名が、シンガポール(8日間)・オーストラリア(5日間)を訪問しました。

シンガポールでは、まず長崎賢人会という、現地で活躍されている長崎ご出身の日本人の方々との夕食会があり、海外での生活や、日本語が使えない土地で仕事をする上での工夫や苦勞など、たくさんのお話をうかがうことができました。また、NEWaterの施設を見学し、ひとつのものを再利用するというアイデアが生まれ、自身のSGH研究に繋げることができると思いました。

オーストラリアのシドニーでは、3泊4日のホームステイを行い、現地の高校で体験授業を受け、現地の高校生と交流を深めることができました。

訪問した両国では、異なる文化的背景を持った人が多く生活しており、自身のSGHテーマ「多文化共生」が実現された場所を目の当たりにし、長崎をこのような街にしたいという想いが強くなりました。日本語が使いたくても使えない環境で、聞こえてくることも話すこともすべて英語なので、初めこそしり込みしましたが、自分たちの英語が相手に伝わった瞬間は本当に嬉しくて、「もっと何か話したい！」という気持ちになりました。また失敗を恐れない勇氣、異文化に触れることで芽生えた新たな価値観、そしてこの2週間を共にした19人の仲間という大切な宝を得ることができました。この数々の貴重な体験を忘れずに、これから学校生活でも積極的に自分の意見を発言し、様々な場面でリーダーとなれるように日々精進していきます！

(2-6 小川裕昂 2-7 大賀雄介)



